第１６６回　放送番組審議会議事録

１．開催日時　令和７年１２月１８日（木）午後４時から

２．開催場所　ホテル ベラヴィータ　会議室

司会　吉良 武夫

３．出席の委員　委員総数　　９名

出席委員数　（６名）の氏名

川端 宏行　・　生方 朋子　・　小野 和明

諸田 勝　・　山口 梨香　・　宇敷 喜与次

欠席委員数　（３名）の氏名

小野瀬 和男　・　落合 裕子　・　原澤 ふじ子

放送事業者側出席者名（４名）

津久井 功　・　千明 公男　・　吉良 武夫　・　千明 絢香

４．挨拶

〇沼田エフエム放送（株）代表取締役社長　　津久井 功

年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ＦＭＯＺＥでは、リスナーさんが聴きたくなる放送に向けて、日々努力を重ねております。電波を通して皆さんへ発信していくまでの過程におきましても、非常に重要であり、地域と寄り添いながら放送を続けていくことを大切にしております。本日も慎重な審議をお願いいたします。

〇沼田エフエム放送（株）放送番組審議委員 副委員長　諸田 勝 様

コミュニティ放送局がある地域とない地域での違いを感じています。存在する地域は大きな役割があり、その地域でしかできない取り組みもあります。これからも沼田市からの情報発信基地として、リスナーさんに寄り添った放送局を築いていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

５．資料の確認

・番組表

・座席表

・審議会資料綴り

６．　議　事　　議長：放送番組審議委員 副委員長 諸田 様

（１）放送報告　視聴CDより

１．　沼田市認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営協議会「命の宝さがし」第２０回模擬捜索訓練について

放送日時：１１月２５日（火）８：３０～
（再放送：１１月２６日（水）１７：１５～／１１月２９日（土）１１：００～）
試聴内容：「第２０回模擬捜索訓練の実施概要・体験者へのインタビュー」
実施会場：沼田市立利南東小学校（対象：５年生）
取材担当：千明絢香

【概要】

沼田市認知症にやさしい地域づくりネットワーク協議会により毎年実施されている模擬捜索訓練について、地域住民のみなさまに活動の経緯や取り組みについて周知を計ることを目的として放送を実施しました。

命を守る活動として、FM OZEにおいても日頃から協議会や警察と連携をとりながら行方不明者の情報を放送し、早期発見に向けて活動しています。

今回は利南東小学校の５年生を対象に、認知症についての事前学習をはじめ、認知症と思われる方にお会いした際の対応方法を学び、認知症になったご老人役の方を探す「模擬捜索訓練」が学校周辺の屋外にて実施されました。

【ご意見】

宇敷：認知症の方を相手に、どんな風に接してよいのか、わからない人が多い
（つい怒ってしまったり、なぜできないのかイライラしてしまうなど）
地域の方々に向けて理解を深めるために良い放送である。

山口：身近に認知症で亡くなった方がいる。周りが苦しい状況を見てきた。
優しく接することの大切さを改めて思い出させてくれた。
子供たちに伝えるのはとても良い取り組みである。

小野：認知症でお困りの家族も多いと感じる。放送周知が大切。
将来の就きたい職業にもつながるきっかけにもなっている。

生方：都会にはない地域ぐるみでの取り組みで、良いことだと思う。
体育館での音声が聴きにくかった。

川端：机での勉強はあっても、社会勉強経験はすくない貴重なタイミングであると感じた。

諸田：沼田市と社協全国で２番目に導入したシステム。釧路の次にスタートした取り組みであり、当時はＦＡＸ（駅・コンビニ等）目に触れるところにあった。
そこからコミュニティＦＭへパワーアップしていった経緯がある。
警察での連携は全国でも初めてのこであった。
「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をこれからも続けてほしい。

●会社側の見解と対応
（吉良）音声収録方法については、今後検討し、より聞き取りやすい録音方法で取り組んでまいります。引き続き、関係機関と連携をとりながら放送してまいります。

２．みんなの☆ラジオ

放送日時：１０月２７日（月）１７：４５～
試聴内容：「沼田市立川田小学校６年生による朗読および校歌合唱」
取材担当：千明絢香

【概要】
学生の活動をお伝えしている「みんなの☆らじお」にて、川田小学校１年生から６年生まで、１カ月間放送を実施しました。１年生から５年生は、国語の教科書から音読や、バス旅行についての作文発表があり、６年生では「アメニモマケズ」の朗読と校歌を合唱していただきました。

【ご意見】
川端：子供たちの元気な声を聴いて、こちらも元気がでた。
家のラジオもＦＭＯＺＥを聴いており、深夜放送を聴くことが多い。
トータルでのラジオを聴いて、楽しさを感じている。
生方：子供たちの声はかわいらしく元気がでる。顔が緩む。
都会では商業的な内容のラジオが多いため地元のこどもたちの声が聴けるのはコミュニティならではではないかと思う。
小野：イベントは子供たちに参加してもらうと、両親やラジオを聴く人が増えるので良い。
ラジオの周知活動が素晴らしい。
山口：アメニモマケズは懐かしいなと感じた。子供の声に未来を感じる。
震災報道の際にも子供の声を放送していたメディアもあり、未来が開けるのではと感じた。
宇敷：学校再編が進んでいる。歴史的にも何十年後にこの音源を聴いたときに、音声として残るため非常に価値のある取り組みである。今後も各学校を回ってほしい。
諸田：ラジオに触れる機会が少ない子どもたちには非常に良い体験になったのではないか。

●会社側の見解と対応
（千明絢香）学校まで取材へ伺う際は、緊急告知ラジオと携帯ラジオを持ち込み、実際に触って音を出してもらうことを実践しています。
今後も継続して取り組んでまいります。

３．みんなの☆ラジオ

放送日時：１２月１日（月）
テーマ：沼田市立池田小学校４年生から６年生による
「たんばら高原イメージソング～やさしい人に会える気がして～」合唱
取材担当：千明絢香

【概要】
１１月に利根沼田文化会館にて開催された「沼田市音楽発表会」において、池田小学校の生徒（４年生～６年生）による合唱「玉原高原のイメージソング～やさしい人に会える気がして～」が歌われました。池田小学校は令和９年度から合併が予定されているため、思い出に残るよう選曲されました。合唱にあたり、作曲をされた原真理子先生が、小学生でも歌いやすいよう、今回の発表のためにコーラスを編曲されています。

【ご意見】
宇敷：森林文化都市（ブナの原生林）象徴的な地域。
池田地域の児童が歌うことに、改めて意味があると感じた。
山口：地名や風景が目に浮かぶ曲は貴重なものであると感じた。
歌い継いでいくことで名曲になる。どんなに良い曲でも演奏されなければないのと同じ。歌う機会があれば聴く機会がある。発信を続けてほしい。
小野：こどもたちがハキハキ喋っていて良かった。今後もこの様な活動を続けてほしい。
生方：心和む歌声だった。ほかの学校の合唱曲も聴いてみたいと思った。
川端：自分もミュージシャンである。今回はアレンジしてあるけど、難しい曲調であると感じたが、みなさんよく練習されて素ばらしい歌声だと感じた。
諸田：生物多様性の活動。森の博物館たんばらとしての取り組みが始まっているため、この様な歌からも弾みになるといい。

●会社側の見解と対応
（千明絢香）地域に特化した曲や内容のものがあると思う。今後も取材を続け、ラジオを通して地域のみなさんへ活動を知っていただくきっかけとなるよう、活動してまいります。

４．クマの出没に関する注意喚起CM

放送開始日：１１月３０日（日）
試聴内容：クマの出没に関する注意喚起
担当：吉良武夫

【概要】
クマの出没により被害が多発していることから、外出の際の注意事項やラジオを流す対策等を促すＣＭを放送しました。

【ご意見】
川端：ＦＭＯＺＥでＣＤを貸し出して山に持っていくことをお勧めするなど、他の方法があっても良いのではないか。
生方：友人や知り合いから心配の連絡がたくさんくる。注意喚起の放送はとても助かる。
小野：みなかみ町でもクマを見つけて通報があると防災無線で放送がある。
住民は安全のために良いが、観光地はお客様が減り、大打撃となっていた。
注意喚起とともに、安全対策をしているということも伝えてもらえると、より安心に繋がる。
山口：決して他人ごとではない。
ラジオを携帯して気を付けるポイントを教えていただくと、安心できる。
宇敷：迅速な放送がありがたい。防災ぬまたでも連絡がくる。
防災無線を流すか判断しながら注意喚起している。ラジオからの放送もありがたい。
諸田：スーパーに居た人によると混雑している中でクマが見つけにくい状況もあった。
日頃から注意喚起は非常に重要であると感じる。ＡＩの音声も自然に感じた。

●会社側の見解と対応
（吉良）より多くの方に注意喚起が届くよう、放送を続けてまいります。

7. 次回開催日について（基本　偶数月　第３木曜日）

日　時　令和８年２月１９日（木）１６：００（予定）
会　場　ホテル ベラヴィータ会議室（予定）

8. 閉　会

＊議事録公表につきまして

第１６６回放送番組審議会につきましては、
１．沼田エフエム（株）番組内にて放送。
２．書面での弊社事務所受付への据え置き。
３．弊社ホームページに掲載。
以上、議事録の内容を１月６日より一般公開しております。